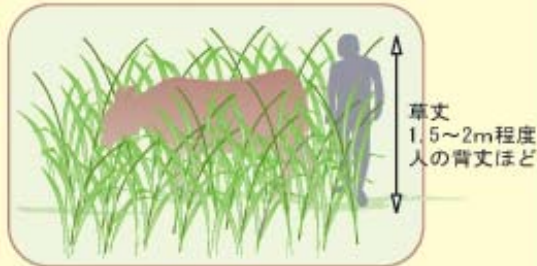


放牧前後の草の量の変化

◆入牧時（C牧区1回目）



・C牧区には7月10日に入牧しましたが、ススキの草丈は人の背丈ほどもありました。



<移動牧区の状況>

- ◆植生特性
 - ・A牧区：ススキ、ネザサ型
 - ・B牧区：ネザサ型
 - ・C牧区：ススキ型
- ◆入牧日数/延べ放牧頭数
 - ・A牧区：59日/971頭
 - ・B牧区：46日/821頭
 - ・C牧区：61日/1,115頭
 - ・AB牧区：8日/152頭
 - ・合計：174日/3,059頭

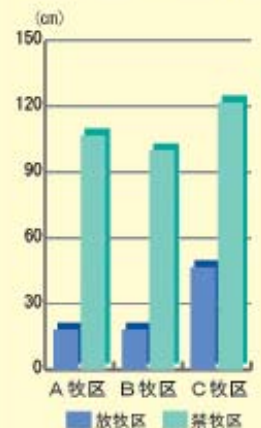
◆退牧時（C牧区1回目）



・8月23日の放牧終了時には、ススキの草丈は60cm程度で、株がまばらに残る状態となり



放牧終了時の草丈 (放牧区と禁牧区の比較)



平成12年度試験展示後の野焼きチェック時の状況

◆モーモー輪地の外では・・・

・モーモー輪地の外部では炎が高さ7mに達し、帯状に連続して燃え、人が火に近づける状態ではありませんでした。



◆モーモー輪地内では・・・

・モーモー輪地内の燃え方は断続的で、①地表の枯れ草が燃え、②ススキの枯れ草に火がつく状態で、炎の高さは最高1m程度。人の火消し棒で十分制御できる炎の高さになりました。



※平成13年度の実証試験に先立ち、平成12年9月中旬～10月中旬まで1ヶ月間、モーモー輪地の試験展示を行いました。

(H13年3月撮影)

